



# MUSIC LAMP

Vol.11

## ユキ・アリマサ MUSIC LAMP Special Trio



B.井上陽介



Dr.大坂昌彦



Pf.ユキ・アリマサ

# 2020.2.15

**会場** 札幌市教育文化会館 大ホール  
札幌市中央区北1条西13丁目

**プログラム**  
開場 .....15:00  
ロビーイベント .....15:00~15:45  
ジャズライブ .....16:00~18:00  
お楽しみ抽選会 .....18:00~18:15



札幌ジュニアジャズスクール 20thアニバーサリーセッション

ロビーイベントでは盲導犬体験やミニコンサートを行います。また、豪華景品が当たる抽選会参加券を、入場先着300名を対象に配布いたします。わくわくするプログラムが満載!イベント参加の方はお早めにご来場下さい。

●料金(税込) **全席自由**

一般	前売 3,000円	当日 3,500円
小中高生	前売 1,000円	当日 1,500円

2月16日(日) 札幌ジュニアジャズスクール20周年記念Final Live セット券  
一般前売 3,300円(Pコード:780-692、Lコード:11854)

※未就学児の入場は膝上限り無料です。お座席を必要とする場合は、小中高生の料金と同額となります。

※お客様用の駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用下さい。

※大ホール会場内での録音、撮影は固くお断り致します。

※車椅子をご利用のお客様は車椅子のまま観覧できる専用エリアをご用意致します。ご予約は、お問い合わせ先にご連絡下さい。

### ●チケット取扱

チケットぴあ(Pコード:169-110)	ローソンチケット(Lコード:11536)
札幌市民交流プラザチケットセンター	道新プレイガイド(0570)00-3871
教文プレイガイド(011)271-3355	
(有)福岡燃料(011)761-7604	札幌碧法律事務所(011)281-0200
(株)rakune(011)520-5550	吉田会計事務所(011)624-8800
(株)ジャパンインシュアランスエージェント札幌支店(011)241-7686	

- 主催/チャリティーコンサート「ミュージックランプ」実行委員会、札幌ライラックライオンズクラブ、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)
- 後援/北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、STVラジオ
- 協力/北海道盲導犬協会、認定NPO法人Kacotam
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)



独立行政法人日本芸術文化振興会

お問い合わせ先/札幌芸術の森事業課  
〒005-0864 札幌市南区芸術の森2-75  
Tel 011-592-4125 Fax 011-592-4120 (休館日を除く9:15~17:45)  
<http://www.go-sjf.com/>



目に障がいを持つ方々や青少年の未来を照らす灯りになる。そんな思いを胸に、2010年に札幌ライラックライオンズクラブと公益財団法人札幌市芸術文化財団がはじめたチャリティ・ジャズ・ライブ。それが、ライラックチャリティ“MUSIC LAMP”です。

私たちは、市民の皆様へ上質なジャズをお届けします。皆様にお支払い頂いた入場料は、視覚障がい者の支援や青少年の健全育成事業のために使われます。つまり、未来を照らす灯りが、皆様によって灯されるチャリティ・ライブです。使いみちは、毎年、札幌ライラックライオンズクラブのホームページ (<http://www.lilac-lions.com>) で公表されています。

11回目の今回は、日本ジャズ界の屋台骨を支えるアーティスト、ユキ・アリマサ、井上陽介、大坂昌彦の3名による一夜限りのスペシャルトリオと、札幌ジュニアジャズスクールの20周年を記念し、ジャズスクールの修了生を含むスペシャルセッションの2部構成でお届けします。ライブ開始前の開場時間中も皆様に喜んでいただけるお洒落な企画をご用意しています。是非、開場からお楽しみ下さい。



### ユキ・アリマサ [piano]

1961年東京生まれ。3歳よりピアノを習い始め12歳でジャズピアニスト、オスカー・ピーターソンの演奏を聴き、Jazzに魅了され以降独学で勉強を始める。1983年玉川大学英文科卒業後渡米、パークリー音楽大学でピアノ、作編曲を学ぶ。在学中はピアニスト/アレンジャーとしてハンク・ジョーンズ賞、デューク・エリントン賞を受賞。1986年卒業後パークリー音楽大学ピアノ科助教授として指導にあたる。同年、初リーダーアルバム「Bitter Life of Scarecrow」の制作を機にアメリカ国内外の数々のアーティスト、ジャズグループと共に、ピアニスト/アレンジャー/コンポーザーとしてアルバム制作、演奏活動を続ける。その繊細でイマジネーションに溢れるソロやアレンジはポストグローブ紙、ポストヘラルド紙でも好評を博す。Boston Herald, “Yuki Arimasa is a sensitive accompanist and expressive, imaginative soloist”, Boston Globe, “Arimasa’s arrangement received the strongest applause”.1996年に15年間の在米生活後帰国。原大力(Drums)、佐藤ハチ恭彦(Bass)からなるユキ・アリマサトリオを結成し「Tell Me Where The Music Is」を発表。以降、音楽プロデューサー/アレンジャーとして日本の数々のジャズアーティストのアルバム制作に参加。近年は、ソロピアノ、デュエットと多彩な表現に取り組んでいる。2011年にソロアルバム「Forest」をリリース。2012年よりTPT原朋直とデュエットプロジェクトを始動し、オリジナル作品集「Vol.One」、スタンダード集「The Days of Wine and Roses」をリリース。最新作は2016年にリリースされた、クラシックの楽曲を即興演奏の素材にしたソロアルバム、「Dimensions」また、2000年より洗足学園音楽大学ジャズコース教授として、ジャズソルフェージュを開設し、横浜芸術文化財団主催の小学生向けジャズ講座や中高生のBig Band指導など、後進の育成にも注力している。2016年には一般社団法人Artist Greenを設立。アジアをはじめ、各国の音楽家同士のコミュニケーションや教育目的のワークショップなど芸術振興に携わる法人として活動を始めた。また最新のグループとしては、テナー鈴木央紹、ドラム原大力とベースレスのバンド、TrioSamadhiを結成。レギュラーピアノトリオと共に、ベースレスという新しい形での自然な音楽を追求すべく活動している。



### 井上陽介 [bass]

1964年7月16日、大阪生まれ。大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。97年には初リーダーアルバム「スピークアップ」をリリース。在米中、ドン・フリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディングやライブハウスやヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2017年の「Good Time Again」まで8枚のアルバムをリリース。2019年1月に武本和太(P)濱田省吾(Ds)とレコーディングした9枚目の新しいアルバム「New Stories」をリリース。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。現在、自己のグループ他、塩谷哲トリオ、大西順子、渡辺香津美のレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。ジャズのみならず絢香、佐藤竹善、Superfly、JUJUなどのポップスのサポートでも活動。



### 大坂昌彦 [drums]

1986年奨学金を獲得し、パークリー音楽大学に留学。在学中にデルフィーヨ・マルサリスのバンドに在籍し全米各地のジャズフェスに出演。NYでの活動後、1990年に帰国。大坂昌彦・原朋直クインテットを結成。アルバム6枚をリリース。うち2枚がスイングジャーナル誌でゴールドディスクに選定される。一方、日米混合バンド、ジャズネットワークスでもアルバム4枚をリリース。単独リーダーアルバムもリリースしており、3枚目の「Walkin' Down Lexington」はスイングジャーナル誌で制作企画賞を受賞する。4枚目のアルバム「Cross Fade」録音時にはMBS放送でドキュメンタリー番組を制作、放送される。2004年、2006年と「東京ジャズ」に出演。同年、上海ジャズにも出演。2008年に7年ぶりとなるリーダーアルバム「Homage」を発表。本作でコラボレートした自動車メーカー AUDI のイベント「music meets art」に2008、2009年と出演。2010年に「Funky 7」をリリース。2011年に休刊したスイングジャーナル誌では16年間に渡りドラム部門人気投票で1位に選ばれ続けた。2011年には台中ジャズに出演。2012年に8枚目となる「assemblage」を発表。プロデュース作も多く、2014年にプロデュースした「ジャズ・シネマ・パラダイス」はハイレゾ配信サイトe-onkyoにて長期間1位にランクされ、業界の話題となる。2015年には「東京プレミアム・ジャズ・セッション」。2016年にはシリーズ第三弾の「ジャズシネマ・ファンタジー」がジャズジャパン・アワードを受賞。2018年、最新のアルバム「tricolage」を発表。サイドメンとしても100枚を超えるジャズのアルバムに参加している。現在はAsemblage、EQ、Scene of Jazz、サムライ・ビバップ・トリオ、F.E.J.E.、trio vintage等のレギュラーグループで精力的に活動している。1996年より洗足学園音楽大学の非常勤講師を務め、2012年客員教授に就任。日本ソムリエ協会認定ワイン・エキスパート。

## 札幌ジュニアジャズスクール

札幌ジュニアジャズスクールは、1期1年制のジャズスクールとして2000年に発足し、今期で節目の第20期を迎えました。毎週土日に札幌芸術の森での定期練習、道内イベントへの出演や病院・福祉施設での訪問演奏、海外ジャズバンドとの交流なども行っております。今回は、今期の中学生クラス(Club SJF)と、これまで輩出した延べ1,000名以上の修了生の中から、約100名が集結し編成した「20th アニバーサリーセッション」が出演します。



## 札幌ライラックライオンズクラブ

世界各国に46,000クラブ、136万人もの仲間を有する世界最大の奉仕団体、ライオンズクラブ。その中で札幌ライラックライオンズクラブは、1964年、東京オリンピックが開催された年に誕生しました。地域に根差した自分たちにもできる奉仕活動がしたい、社会に貢献することで生きていることへの感謝を表現したい、そんな思いをもつ市民で構成され、幅広い年齢層から、あらゆる職業の人が集まってフレンドリーな活動を続けています。

2010年、クラブ誕生45周年を記念して、公益財団法人札幌市芸術文化財団との共催によりはじまったライラックチャリティ・ミュージックランچもその活動のひとつ。多くの方々の支持を受け、今回で11回目を迎えます。